

広報広聴委員会会議録

招 集

平成30年12月18日(火) 午前10時 議会委員会室

出席委員(8人)

(委員長) 伊藤 ひろえ (副委員長) 稲田 清
今城 雅子 岩崎 康朗 奥岩 浩基 又野 史朗
矢田貝 香織 山川 智帆

欠席委員(0人)

出席した事務局職員

先灘局長 長谷川局次長 佐藤主任

傍聴者

報道機関0社 一般 0人

協議事件

- ・よなご市議会だよりについて
- ・議会報告会について
- ・議会ホームページについて
- ・その他

~~~~~

### 午前9時59分 開会

○伊藤委員長 それでは、広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、日程書のとおりに進めたいと思いますが、案件がちょっとたくさんありますし、午後委員会がありますので円滑に進めたいと思いますので、御協力をお願いいたします。

まず初めに、議会だよりについて御協議をお願いしたいと思っております。お配りしておりました議会だより及び議会報告会について、これまでの決定事項を記載しておりますので、御確認をお願いいたします。また、引き続き検討することとしまして、質問ページに図やイラストを掲載することについてと、マチイロで配信していることを明記することというところですので、よろしくをお願いいたします。よろしいでしょうか、この確認事項ということは決定事項で、よろしくをお願いいたします。

それでは、皆様方にいただいております資料1、御意見についてなんですけど、資料1をごらんいただきたいと思っております。

まず、議会だよりについて、代表質問の発言の記載についてということですが、いろいろな意見がございますけれども、おおむね所属の会派人数掛ける0.5ページというところ、政英会さん、信風もそういう意見なんですけど、共産党さんが1人分掛ける0.5ページということで掲載してはどうかというような意見でございます。

そこで、公明党さんからも意見がございました。検討資料をごらんください。きょうの封筒に入ったものの一番上なんですけど、検討資料ということで、全体のページ数は88ページで、53号から56号まで、まずはページの割り振りが書いてございます。代表質

問があったときは総ページ数が26ページ、54号が24ページ、55号は20ページで、あと残りということなので、56号が18ページになっております。

次に、各号で必要な記事というもののページ数を割り出させていただきました。表紙、あらまし、審議結果一覧、次回定例会日程ということで、これは各号共通で、このように4ページぐらいが必要。そして、代表質問、各個質問だとか、いろいろな質問は、その人数によって変わってきますけれども、こういうふうになっております。あと、随時、意見書があれば掲載するということになっておりますので、必要なものがございます。

ここで見ますと、一番初めの6月1日号というところですけども、私、ちょっと計算してみました。3月議会に代表質問が例えば5名、各会派で0.5ページということになりますと、11.5ページが必要で、関連質問がございましたと、あと20名ということで10ページ。そうしますと、6月1日号は、何も総量は書いてないんですけど、そうしますと26.5ページということで、何とか入るのかなというふうなところなんです。しかし、ページ増が想定されるものの中には、各個質問はもうちょっと発言議員がふえればなんですけれども、意見書、決議、改選時の議員紹介など、そういうものがございますので、これをどうするかというようなことがございますが、皆さん方の御意見、会派1人当たり0.5ページということで何とかおさまるんではないのかなというふうに思います。

皆様の御意見がございましたらお願いしたいと思います。

〔「それでいいです。」と山川委員〕

**○伊藤委員長** よろしいでしょうか。いろんな心配な御意見をいただいておりますが、米子市議会は発言議員が多いですし、代表質問もしっかりされるということで、その伝統を生かして発言をきっちり掲載するというのも必要ではないかなというふうに思います。また、今まで文字数が多いので、なかなか文字ばかりで見にくいというような御意見がございましたが、先日までの御意見でも図だとかイラスト、写真などを入れることで何とか見やすいようにしていきたいと思いますので、じゃあ、会派1人当たり0.5ページということで代表質問は掲載させていただくということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○伊藤委員長** ありがとうございます。

この中なんですけれども、政英会さんが書いてございます、掲載スペースの割り振りは会派に委ねるということでよろしいでしょうか。何項目書くだとか書き方をどうするだとか、そういうようなことではなくって、会派に委ねるでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○伊藤委員長** じゃあ、そのように決定させていただきます。

意見書、宣言、決議等の掲載なんですけれども、もしページ数が足りなくなった場合は、その場合は表題のみだとか要旨、要約だとか、そういうようなことももしかしたら出てくるかもしれませんが、それはそのとき、その都度に皆さんに御意見を賜りたいと思いますが、あれもこれもは無理ですので、そういうことも御承知いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○伊藤委員長** ありがとうございます。

それで、1つ、イラスト、写真、図の配置ということで、見やすくなるということで、

その方向なんですけれども、先日印刷会社のほうに私もちょっとそういうことについてお伺いに行きました。自分たちでみんなイラストだとかを出すというのはちょっととても難しい話だなと思いますし、今、フリーだと思っていたのにフリーじゃなかったのが、訴えられてしまったとかトラブルになったというようなこともあるというふうに聞いておりますので、写真だとか図とかは自分で作成したもの、自分で撮ったもの、あと、写真ですと、人が写ってる場合はその個人情報きちっと承諾をとっているものというふうに責任を持った形で出していただいて、イラストはトラブルが多いということですので、こういうふうなイラストを掲載してくださいというようなことや、自分が描いた、自分がつくったイラストだとか、そういうふうにしていただければと思っております。印刷会社さんにはいろいろフリーの、自分の持っているイラストがたくさんあるというようなことやフリーのイラストを入手する契約をしてらっしゃるということで、問題がないということなので、そういうふうにしていただくというようなことを注意事項として議員皆さんにもわかっていただいた上で、イラスト、写真、図を配置するということをしていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

（「はい」と声あり）

○伊藤委員長 異議はございませんか。

〔「はい」と声あり〕

○伊藤委員長 ありがとうございます。

この図、イラスト、写真とかは別に要綱とかに載せなくてもいいですよ。

〔「はい」と佐藤主任〕

○伊藤委員長 要綱には載せずに注意事項として申し合わせるという形でさせていただきますと思います。

次に、表紙案ですね、表紙の写真、イラストを募集しておりました。そこで、いま7件来ております。これをこの場で決めたいと思いますので……。

（発言する者あり）

○先灘事務局長 委員長、申しわけありません。

○伊藤委員長 どうぞ。

○先灘事務局長 説明の前に、こちらの議会だよりの写真一覧表ございます。住所まで入ってます。ここ限りでお願いいたします。本来ですと、この住所をつけずにお渡しすべきところですけども、申しわけありません、出しましたので、この場限りということでお願いいたします。

○伊藤委員長 はい、わかりました。

じゃあ、回収を。

〔「回収にしましょう」と声あり〕

○伊藤委員長 はい、結構です。失礼いたしました。

それでは、説明とかはいいですよ、これね。

〔「はい、大丈夫です」と佐藤主任〕

○伊藤委員長 じゃあ、1から7、いろいろな写真だとかイラストもございますし、どれを、どういうふうにしましょうか。多数決ということでよろしいでしょうか。

○今城委員 その前に、済みません、ちょっと確認で、よく人物が写っている、特に一番

最後のなどは顔が出てしまいますので、一人一人確認しないといけないような作業があるかなど。出しているか、それはもう確認済みで全然オーケーですか。

○伊藤委員長 はい、確認取れておりますので、オーケーです。

○今城委員 わかりました。子どもさんのも、顔は出てないので大丈夫ですけど、後ろ姿の作業員さんも全部オーケーですね。基本それでオーケーということですよ。

○伊藤委員長 はい、それは確認させていただきましたので、ありがとうございます。必要なことです。

見ていただけましたでしょうか。

○山川委員 これ載るとしたら、これ、この縦サイズでこんな感じですか。横長でいく感じですか。

○伊藤委員長 横長ですね。

○山川委員 横長で。

○伊藤委員長 ええ、横長ですね。この中にもあります。

○伊藤委員長 今、山川委員がおっしゃってくださっているのです。この前、長久手の議会だよりを皆さんに見ていただいて、とても若い人にもとって見やすいような表紙の写真だな、表紙の書体だなというようなことで、資料作成チームがいろいろ試行錯誤しながらちょっと米子市議会だよりということを提案させていただきたいと思っております。

○山川委員 いいと思います。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

あわせて、見ていただければと思います。もしこの場で決まれば、56号から採用していただければなというふうには思っておりますが、また、事務局のほうの作業のこともございますので、もしできればということで。これを置いときます、じゃあ、1から7までで、どうしましょうか。

○山川委員 手挙げて、多いやつとかでいきましょうか。

○伊藤委員長 あっ、そうですか。いいですか。よろしいでしょうか。

佐藤さん、どうぞ。

○佐藤主任 審査に入られる前に、ちょっとつけ加えておかないといけないことがありまして。4番なんですけれども。

○伊藤委員長 4番。

○佐藤主任 梅と大山のイラスト、これがちょっと見ていただいたらと思いますが、とても容量が軽くて、応募条件を満たしてないといったらあれなんですけど、なので、これを拡大すると画像が荒れるという状況があります。あと、さっきお話に出てた7番の劇団員、これはピントがぼけてます、データ自体も。以上です。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

4番と7番がちょっと画質に少し問題ありということらしいです。

○岩崎委員 委員長、いいですか、ちょっと質問です。

○伊藤委員長 どうぞ。

○岩崎委員 2月発行分の、今審査をしてるということでもいいですね。

○伊藤委員長 そうです、はい。

○岩崎委員 ていうことは、時期的なものはある程度考えなきゃいけないですよ。おの

ずとそうなっちゃいますよね。

○伊藤委員長 はい、考慮を。言っていただければ。

○岩崎委員 2月、冬、ちょっと寒い時期なのか、暦の上では春なのか。ちょっと済みません、確認でした。

○伊藤委員長 はい、ありがとうございます。

じゃあ、よろしいでしょうか。

〔「はい」と山川委員〕

○伊藤委員長 じゃあ、1番の写真、デザインがよろしい方。

○伊藤委員長 なし。

2番がいいと思われる方。

また（聞き取れず）。3番はいかがでしょうか。3番がいい方。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 3番。2人。

4番。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 1人。

5番。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 2人。

6番。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 1人。

7番。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 1人。

○山川委員 委員長は。

○伊藤委員長 委員長なので。

じゃあ、多い……。2が2つ。3番と…。

○山川委員 3番と6番。

○伊藤委員長 5番なんですね。3番と5番で。

○今城委員 委員長の決選で。

○伊藤委員長 いえいえ、3番と5番の中で、皆さんにまた手を挙げていただいたらと思いますが、よろしいでしょうか。

○矢田貝委員 済みません、正方形になるんですよ。

○伊藤委員長 これですね。

○矢田貝委員 あと、議会だよりの見本でいくと、これ……。

○伊藤委員長 議会だよりの見本でいくと、今はこういうちょっと縦長の形ですけども。

○矢田貝委員 これは縦長なんですか。

○伊藤委員長 でも、写真の例えばここを切るだとか、これだと少しここを切るだとか、何かやっぱり……。

○矢田貝委員 この影を入りたいのに、上を切るしかないのかみたいなの、ちょっとそれで悩みました、私も、この3番については。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

それだとか、下は全部（聞き取れず）。いろいろあると思いますので、写真のほうを選んでいただければと思いますが。いいでしょうか。

じゃあ、3番と5番で、いいでしょうか。

〔「はい」という声あり〕

○伊藤委員長 じゃあ、3番目の方。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 あっ、3番ですね。

じゃあ、5番。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 じゃあ、3番ということで決まりましたので、ありがとうございます。

この3番の写真を採用ですけれども、この3番の写真の、掲載するのは表題と名前になりますでしょうかね。

表題と名前。

○岩崎委員 基本的に、いいですか、委員長。小春日和は秋なので。

（「ええ、そうなんですよね。」と今城委員）

ちょっと合わないんですよね、2月には。絶対合わないので、ちょっとそこは、表題は逆になしにするなり。

○伊藤委員長 表題なし。

○岩崎委員 いや、わかんないですよ、どうしたらいいのか。何か変な問い合わせがあったりする可能性もあるのかなど。ないかもしれないけどね、こういう趣旨で募集した結果っていうなら。

○伊藤委員長 山川委員。

○山川委員 これ、応募者って名前入れてほしいですかね。どんなもんなんですかね。

○伊藤委員長 佐藤さん。

○佐藤主任 一応、募集をするときには、名前を載せるだとかタイトルを載せるだとか、そういったことは言っていないです。ここでちょっと決めていただいて、もしどうしても載せてあげたいということだったら、本人の確認は必要かと思います。

○伊藤委員長 山川委員。

○山川委員 今回3番が選ばれたわけですけど、何かもしそれ選ばれた、あなたの写真がいついつ号に載りますよみたいな通知と、もしできなかつたらもう絶対二度と出さないとかってなったらいけないので、今回はちょっと写真だったんですけど、また別の枠でちょっと載せさせてもらうことがありますみたいな、ちょっと一言、何か手紙みたいなのがあったらいいじゃないかなと思うんですよ。御本人がタイトルはどうしても載せてほしいって言ったら、季節感があつたのでちょっとタイトルは出せなかつたんですけど、お名前は載せてもいいですかみたいな形で、本人が名前、どうしても載せてほしいということだったら載せてあげてもいいんじゃないかなと思います。

○伊藤委員長 いかがでしょうか。それでも、何かタイトルがないってなると、ないと、

何か何もないと…。

○**山川委員** タイトルをちょっと変えてもらおうとか、季節感に合わせたものにちょっと変えてもらえませんかとか、それか、タイトルなしで、お名前だけ誰々さんの作品ですみたいな。

○**伊藤委員長** それでは、御本人さんと話させていただいて、もしよければタイトルが2月号に載るのでということで、タイトルをちょっとお話しさせていただいて、変更可能なのかどうなのかも含めて、あと、その都度名前を載せたほうがいいのかとか、それは確認したほうがいいですかね。

〔「はい」と声あり〕

○**岩崎委員** 本人さんの意向に従うっていうことで。

○**伊藤委員長** それでは、確認をさせていただきますので、選ばせていただきましたということで、お礼とともに。山川委員がおっしゃったように、お手紙なりメールなりでありがとうございましたということで、今回採用されなかったものは次の号、次の号でも、その候補に入れて選考していきますかね。そのほうがいいんじゃないですかね、そういうふうに手紙を出すのであれば。どうでしょう。どんどんふえていく可能性ありですが。

それでは、1年ずつ……。

○**山川委員** 応募がないとかっていう時もあるかもしれない。

○**伊藤委員長** うん、そうですね。それでは、1年ずつ。

○**今城委員** 例えば先ほど言っていたイラストとか、何か載せるってというような、図を載せるとかっていう感じのところに、小さくてもこういうのがもし場所的に入れば、入れることが可能であれば、そんな形で使わせてもらったりすることができれば。でも、表紙について応募してもらってるので、ちょっとそこら辺は難しいかな。

○**伊藤委員長** そうですね。

○**今城委員** そもそも表紙についていうふうにはしているのでは思うんですけど、もしそれが可能ならばとちょっと思ったりも、せっかくだしみたいなの、なので、せっかくだったら。

ただ、全部応募された時点で帰属は米子市になるってということですか。じゃなくて、基本的には帰属は本人さん。

○**伊藤委員長** 佐藤さん、どうぞ。

○**佐藤主任** 一応、応募の時点では全ての応募者に帰属するものとします。これは違うわ。著作権とか肖像権の問題、あっ、問題が発生した場合。

○**先灘事務局長** 所有権と著作権は違います。著作権はあくまでも作成された方というもので、所有は米子市に、議会ですね、という形になる。

〔「使用は。」という声あり〕

○**今城委員** それ使用する場合は。じゃあ、使用する場合は一回一回著作権があるのでっていうことですよ。一回一回。

○**先灘事務局長** はい、よろしいですか。

○**伊藤委員長** 局長。

○**先灘事務局長** 全て提出された方の了解を得た上で全て行くと。掲載報告も、例えばタイトル入れますかどうですか、あるいは文書、撮影は誰々ですというような形で、全て確認の上でしめせんと、あとでトラブルがないようにお願いします。

○伊藤委員長 はい、やっていきたいと思います。ありがとうございます。

○先灘事務局長 追加で別のところに入れるっていうのはいいですかって、意見がありましたので、というか別のところに載せるっていう場合があった場合にも、もちろん確認のうえで、せっかくですので使わせていただだけませんかというようなところをさせていただいたほうが後々の、目的があくまでも表紙ですので。

○伊藤委員長 はい、わかりました。

佐藤さん。

○佐藤主任 先ほど山川委員さんが言われた、採用されなかった方にはお手紙。お電話でもいいんですか。

(いいです。と山川委員)

一応、採用されたものは掲載することによって発表するものとしましていうふうにお断りをちょっと言わせていただいて、言われるように……。

(「メールで来てる。」と先灘事務局長)

メールで来ているものもあります。連絡先は書いてある。メールで来てるものはメールで返信することができますので、ちょっとそういった形でさせてもらいたいと思います。

○伊藤委員長 はい、ありがとうございます。御苦労かけますが、よろしくお願いします。

ありがとうございます。

それでは、この3番の写真を、表紙に採用させていただくということで、あと、表紙のロゴということは、それは事務局的にはどうなんでしょうか。大丈夫でしょうか。

○佐藤主任 ここで協議されて、これでいこうということであれば、問題ないです。

○伊藤委員長 ありがとうございます。でしたら、よろしいでしょうか、これを56号、使わせていただいて。

[「異議なし」と声あり]

○伊藤委員長 ありがとうございます。

じゃあ、そういうふうにさせていただきます。

これに伴って、やっぱりちょっとリニューアルしましたというようなことも必要だと思いますので、リニューアルしましたという言葉をつけるか、あと、ほかの議会だより見ると編集後記なんかにつけて、そこに何か掲載するかというようなこと、どちらにしましょうか。何かリニューアルしましたというふうなところ、何か少し項目つくってやりましょうか。

○矢田貝委員 それがいいと思います。

○伊藤委員長 編集後記。じゃなくて、リニューアル。

○矢田貝委員 いえ、リニューアル。

○山川委員 この表紙見て、結構わかるじゃないですか。何か、あっ、今までと違うなというのが、すごく。ここら辺に、下のほうにリニューアルしましたって、一文でも結構わかるかなと思います。

○伊藤委員長 はい、わかりました。ありがとうございます。

そういうような形でよろしいでしょうか。いいでしょうか。

[「はい」と声あり]

○伊藤委員長 ありがとうございます。



じゃあ、リニューアルをしましたということを掲載したいと思います。ありがとうございます。

じゃあ、もう協議いただくところは、議会だよりは大体こちら辺なのかな。よろしいでしょうか。皆さんに御意見をいただいたところの議会だよりの、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○伊藤委員長 あとは、2月号、56号について、校正について、事務局の佐藤さんからお話していただきたいと思います。

○佐藤主任 あの、ごめんなさい、委員会視察。ごめんなさい。

○伊藤委員長 委員会視察のね、これも一緒に、済みません。

○佐藤主任 じゃあ、済みません、追加でお配りしました委員会の行政視察を行いましたという記事、一応たたき台といいますか、案ということでつくらせていただきました。以前お配りしたやつが横書きだったかと思いますが、右にめくっていく冊子ですので縦書きのほうがいいかなと思って、縦書きにちょっと直したものを載せております。

内容としては、2つの常任委員会が実施しましたので、このたびは1ページ使って2つということで、今もうホームページなんかには掲載して、公表してるところなんですけど、一つの委員会の報告書が大体9ページから、そのぐらいあるもので、全部載せるのは当然無理なことだとは思って、載せているのが、それぞれの委員会が1カ所目に訪問した視察先の訪問した感想、所感というようなところになるんですけども、そこをそのまま載せております。1カ所だけ載せて、詳しくはホームページをごらんくださいというような文言をつけたほうがいいのかということ、こういった案で一応つくらせていただきましたので、御意見等お願いいたします。

○伊藤委員長 今回、都市経済委員会、視察に行ってもらえないので、2委員会ですけども、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○伊藤委員長 ありがとうございます。

それでは、以上で議会だよりのことについては終わらせていただきたいと思いますが、何か抜け落ちているところとかございませんでしょうか。

事務局のほうは大丈夫でしょうか。

佐藤さん。

○佐藤主任 多分この後、協議をされることになるんですけども、裏表紙に議会報告会のこのチラシ、ちょっと白黒にはなるかと思うんですけども、掲載しようかと思えます。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

じゃあ、せっかく見ていただいたので、資料作成チームで2つつくらせていただいて、議会報告会の議会、ひらがなにしたものもあったんですけども、ちょっとそれじゃあ何か議会という感じがしないということで、この2つの中のどちらか、また、ここはちょっと見にくいんじゃないのかなというようなことがあったら、決定してからでも言っていただければ直していきたいと思いますので、御意見とともにいただきたいと思います、どちらの感じがいいのか。それよりももっとこういうふうにしてくださいというような御意見があったらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○岩崎委員 これ、白黒ですよ。

(「議会だよりはね。」と佐藤主任)

○伊藤委員長 議会だよりはそうなんですけれど、チラシはカラーになるかなと。

○岩崎委員 チラシはカラーで。

○伊藤委員長 はい、チラシはカラーになるかな。

○岩崎委員 議会だより、今度出す2月分の裏表紙にこれが出るんだけど、それは白黒ですけど、ということですね。どっちか。

○伊藤委員長 そうですね、はい。

○山川委員 白黒だったら、どっちが見やすいですかね。

○矢田貝委員 私、青がぱっと出てるのがいいかと思ったんですが、人たちが青の中から白黒になったときに出てくるかなとかって思って。

(「ちょっと白黒で2つ印刷を。」と山川委員。)

○佐藤主任 ちょっと見にくいかな。これが前回の議会報告会の。

○伊藤委員長 それも空でした。

○佐藤主任 これで、そのまんまじゃなくて、ちょっと工夫はしてくださるんですよね。

○伊藤委員長 はい、ありがとうございます。

(「あの青いのは空。」と岩崎委員)

(「同化するかもしれんけどね。」と山川委員)

(「そうですね。」と声あり)

(「桜がぱっぱっぱっ写って、あれかもしれんし。」と山川委員)

(「それがうまく見えるかどうかね。」と矢田貝委員)

○伊藤委員長 今持ってきてくださるようなので、じゃあ、それを見ていただいてからというふうにして、じゃあ、その前に、班編成のことを御確認いただきたいと思います。

お配りしておりました班編成の用紙を見ていただいて。

地域にこだわることがない、こだわる必要もないというような意見もございましたけれども、何と云っても、改選後ですので、まずは地域にちょっとこだわった形で、4つの班編成してみました。御意見等あればお願いしたいと思います。よろしければ、これで班編成ということだと思います。よろしいでしょうか。

[「はい。」と声あり]

○伊藤委員長 ありがとうございます。

○今城委員 委員会の数は。たしか委員会もほぼほぼ一緒に、均等に。

○矢田貝委員 バランスっていう話だったような。

○伊藤委員長 委員会のバランスはちょっと南部ブロックが都市経済の委員がいなくて……。

○矢田貝委員 そこだけですか。

○伊藤委員長 ちょっとそこだけね、そこだけなんですけども。

○矢田貝委員 あとは大丈夫ですか。

○伊藤委員長 もしあれだったら、副議長にちょっとそこにまた補強で入っていただいて。

○岩崎委員 はい、意識しておきます。

○伊藤委員長 いただければありがたいなと思っております。よろしいでしょうか。

[「はい」と声あり]

○伊藤委員長 ありがとうございます。

じゃあ、班編成はこのような形でさせていただきたいと思います。

(事務局がチラシ案のコピーを委員に配付。)

班編成のことなんですけども、本日決定しましたので、1月に議会報告会の決定事項や班長とか役員表を配付して、それぞれの班で集合していただくようにしたいと思います。

(「これは薄いなあ。」と岩崎委員)

(「もうちょっと濃くコピーすればよかったかも知れません。」と長谷川事務局次長)

○伊藤委員長 そうですね。

(「空が結構邪魔ですね。せつかく彦名とか枠でも囲ってるやつが、4つのますがわからない。」と山川委員)

(「桜も一切入ってないし。」と岩崎委員)

(「多分そのために枠が。」と今城委員)

○伊藤委員長 多分もうちょっと……。

(「濃い目に」と声あり)

出てくると思いますし、この枠は枠で白枠にしてしまっ、黒で囲うとか、白黒用にアレンジしたいと思います。白黒もですし、カラーもあわせて……。

(「ちょっと工夫して。」と矢田貝委員)

○伊藤委員長 はい、工夫して……。

○山川委員 カラーが入ると、こっちのほうの方が何か見やすいかなと思うんですよ。だけど、何か、何ですか、この今のやつだと青が、逆に白黒だと青が大きく邪魔してるなど。だから、一緒じゃなくてもいいですよ。ポスター形式と裏表紙の部分と。

○伊藤委員長 ああ、なるほど。

○山川委員 でも、皆一緒がいいですかね。

○今城委員 皆さんのイメージが同じものがずっと続くほうがいいのかと思うんで、同じもののほうがいいとは思いますが、私は。

○伊藤委員長 それでは……。

○山川委員 今決めますか。

○伊藤委員長 はい。今決めないと裏表紙にできないので、決めさせていただければと思います。後ろのバックは白黒用のものとアレンジしたりとかできますし、もうちょっとめり張りついたようなものにできると思うので、ぱっと見た印象で。

○山川委員 この印象で、ただ、全体の構成とかは、何かこっちのほうがバランス的には結構文字とかはよくないですか。ただ、何か空のやつがあって見えないですけど、字の入り方、議会報告会とか、ここ、米子市とかちょっとばらばらな構成なので、こっちが何かそろっていてわかりやすいなと思います。

○伊藤委員長 わかりました。それでは、この文字がこっちでいいですよというんだったら、それに変わりますんで、言っていただければ。

山川委員。

○山川委員 これで後ろの空を除いてもらったら、何かそれ見やすくなるかなと思います。

○伊藤委員長 空なし。

○山川委員 そうそう、空なしで。この枠が入るとか、レイアウト。

○伊藤委員長 佐藤さん。

○佐藤主任 また、見にくいかも。これが前回のチラシなんですね、お配りした。これが議会だよりなんですね。なので、大分加工されます、見やすいように、白黒でってお願いしても。おさまるように、見やすいように。なので、そんなに今のデザインがこうだからっていうのにこだわられなくてもいいかな。

○山川委員 じゃあ、いいか。

○伊藤委員長 ありがとうございます。こだわらなくてもいいということで、印象で。

じゃあ、後で、この文字はこっちがいいとか、そういうのは言っていたらいいので、じゃあ、空の方。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 4。

桜の方。

〔賛成者挙手〕

○伊藤委員長 じゃあ、空で。

○稲田委員 内容：議会のしくみ、予算、決算、委員会の審議過程など、中黒2つだけ、などが入ってるから、この2つは取ったほうがいいかなと。

○伊藤委員長 要らない。わかりました。

○岩崎委員 それと、いいですか。

○伊藤委員長 はい。

○岩崎委員 こっちの、僕は空指定したんだけど、こっち、ちょっと下の本当にお気遣いの文章なんですけど、お誘い合わせの上、お越してくださいとかお待ちしておりますとか、たしか前回のもありましたよね。一言コメントがあるはずなんですよね。

○伊藤委員長 ありました、はい。

○岩崎委員 お気軽にお越してくださいとか、そういったのをつけられたらどうでしょうか。

（「空のどこ。」と山川委員）

○岩崎委員 うん、まあ、その辺にね。ちょっとお気遣い文章が必要なんじゃないでしょうか。

○伊藤委員長 はい、わかりました。承知しました。

はい。

○稲田委員 一つだけ皆さんの意見に、イラストは桜のほうが。

○伊藤委員長 いい感じですか。

○稲田委員 変なこだわり。

○伊藤委員長 いえいえ、大丈夫です。

（「私もそう思う」と声あり）

○稲田委員 だから、青が好きなんだけど、イラストに出てきて、この方たちにきてほしいかなと。どっちがいい悪いとかないんだけど。

○伊藤委員長 はい、承知しました。わかりました。じゃあ、イラストは。

○山川委員 やってもらって、バランス。だけん、ここに人がいっぱいばっばっばっばっばっばって入って、それで、ここにお越してくださいって入ったら、ごちゃごちゃ感になっちゃって、何か見るのがって感じになるので、そのバランスやってもらって。

(「ああ、そうか」と声あり)

○伊藤委員長 そうですね。ありがとうございます。

(発言する者あり)

はい、わかりました。

じゃあ、また何かここ落としてたわってということがあれば閉会日までは変えられると思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。空のイメージのほうで進めさせていただきたいと思います。

議会報告会について、議会報告のあり方については、ちょっとこの後回しにしてもいいですかね、あり方については。ここは時間がかかるころかなと思いますので、ちょっと後回しにさせていただいて、議会報告会のチラシですが、訂正、修正をした後にまた皆さんに見ていただいて、1月18日に自治連の会議の場で班回覧をお願いすることとしたいと思います。よろしく願いいたします。

(「はい」と声あり)

それでは、この議会報告のあり方というところはちょっと後回しにして、議会のホームページについて、移らせていただきたいと思います。ありがとうございます。

議会のホームページに用語集、例規集の掲載については、例規集までは必要ないという意見もございますが、以前の委員会で載せるということに決定しておりますので、どういふふうな載せ方がいいかについて御協議をお願いしたいと思います。

長谷川次長、用語集については、何か例みたいなものか、ありますね。

(発言する者あり)

済みません。

○長谷川事務局次長 すぐ用意します。

○先灘事務局長 ちょっと帰って試している間に、追加でよろしいですか。

○伊藤委員長 はい。

○先灘事務局長 こちらの例規集の意味は、行政の例規集、これ、リンクですので、多分3冊ある例規集とのリンクの話なのか、議会の関係例規集の話なのか、これはどうなんでしょう。

○伊藤委員長 そうですね。

○先灘事務局長 政英会さんのを見ますと、リンクとなりますと、全部の例規集のことと思っておられるのか、あるいは関係例規集という話でしょうか。

○伊藤委員長 この例規集は、私が提案させていただいたんですけど、ちょっと持ってきていいですかね。

(「はい」と岩崎委員)

○伊藤委員長 議会の例規集の、あっ、あります。

○先灘事務局長 例規集、あります。

○伊藤委員長 済みません。これです。この議会の例規集、毎年議員に配られていますけれども、この例規集がもともとの憲法から地方自治法から関係するところがみんな入っておりまして、関係ないところもあるんですね、何か議長会だとか事務局だとか、そういうところは載せずに、これを掲載していただければな、議会基本条例だとか、それを掲載していただければなというふうに思っております。こういうふうな議会関係の例規集を、ほ

ば協議会でも委員会でも載っているところが今とても多いので、基本的なことはやっぱりきちっと押さえた上で、ホームページにアップするということが必要ではないかなというふうに思っております。ありがとうございます。

(事務局が福岡市議会の議会用語集のコピーを委員に配付)

私もいろいろちょっと調べてみて、こういうふうに、あ、か、さ、た、なというふうに、あ行の委員会だとか、そういう基本的な用語だとか、あと、一事不再議だとか、そういうふうなちょっと一般市民さんが聞きなれないような言葉だとか、そういう用語集が大体載っているかなというふうに思っておりますので、これはどこか一つ議会のホームページに、そこに入るような用語集というところ、クリックをするとここが出てくるというような形にできればなというふうに思っています。いかがでしょうか。

○**岩崎委員** いいんじゃないですか。こういうイメージがつかめましたので。

○**伊藤委員長** 済みませんね、なかなか。こういうふうな形が多かったです。大山町議会のホームページもこういうふうな、あ、か、さ、た、な というようなところで出てくるというような、こういう用語集です。議会報告会だとかもわかりにくい用語があったということなので、これは掲載してはどうかと思っております。

事務局的にはいかがでしょうか。はい、局長。

○**先灘事務局長** ホームページだとか委員会とか、いろんな場面である程度説明してあるんですが、これは用語だけを単独ですということですよ。ですので、わかりにくいものはいけないということで、わかりやすくというところを、重立ったものを選んでするというところで。

○**伊藤委員長** はい、そうです。

(「えらいですよ。それで誰が…」と山川委員)

○**伊藤委員長** 今城委員。

○**今城委員** 物理的に事務局が可能なのかっていう。例えばこういうリンク集みたいなのがあって、それを買ってくるというか、いうことだけで済むことだったんですけど、一々全部をアップするとか、何ですか、チェンジしたりするようなそんなことの作業がどのくらいかかるのか。

○**伊藤委員長** はい、局長。

○**先灘事務局長** ホームページでいろんな項目があって、バナーがあって、委員会とか本会議、その場面場面である程度書いている部分があるんですね。ですんで、何か実例があって説明があったほうが多分わかりやすい気がしまして、単独の用語集が果たして、これ一般市民向けですので、どうなのかなっていうところもあります。もう少し研究を続けたいと思います。

○**伊藤委員長** そうですね。もう少し研究していただいて。

○**先灘事務局長** できないことはないです。議会のいろんな冊子とか本とかあって、重立ったものというのがあることはあります。ですので、それを拝借して載せるというところ、害にはならないので、載せることもできると思います。

(「物理的な労力が、物理的な労力をかけて誰が、」という声あり。))

○**伊藤委員長** 佐藤さん。

○**佐藤主任** ごめんなさい。私の個人の見解述べる場ではないんですけど、ホームページ

を見られる方っていうのは基本的にインターネットをされる方なんですね。これもちょっとよその研修会のとときに聞いた話なんですけど、インターネットを見られる方っていうのはもう自分で検索ができるので、どちらかというと、ホームページに載せるというよりは、例えば市議会だよりにコーナーをつくって載せているというところの何か話も聞いたことがあって、このたびの一言メモじゃないけども、用語についてみたいなのを載せているところも結構あるようです。そっちのほうがいいのかっていうのもちょっと考えたりもしました。

○伊藤委員長 わかりました。

○佐藤主任 載せてはいけないということではないのですけれども。

○伊藤委員長 わかりました。用語のことは、研究ということで、整理すべきということで、できればと思っております。ありがとうございます。

さっきの例規集のことですけれども。

今城委員。

○今城委員 例規集を市民の方がどれだけ使うのかなっていう意味では先ほどのことと同じような感じではあると思うんですけど、例えば物理的な意味で、さっき委員長が言われてたところで、ここの部分は要らないからとっていただければっていうのが多分難しいかなと思うんです。ていうのは、例えばそういう、これ一式のものをPDFでばあっと、PDF化したものを載せるんだったらそれだけでいいけども、ここの部分だけとって、また違うものを入れてとか、そういう物理的な問題があると思うんで、もし全てをPDF化してぱっと張りつけられるっていうことがそんなに難しくないのであるんだったら、その程度だったらお願いはできるかなとは思いますが、それがあって、どれだけ使われるのかなっていうのは何となくちょっと先ほどと同じように、じゃあ、どうするのかと。

○伊藤委員長 局長。

○先灘事務局長 これについては、ここで話題になる前に、やろうやっていう話は事務局でしていたんです。ですが、この平成30年度版ができたときに載せようや。もう一つ、市勢要覧っていうのがありまして、行政視察に来られたときに、載せる分、今アップして、これもPDFでしてます。ですので、これもするならばPDFかな。検索機能はちょっと難しいですので、この画面ごとだったらできると思うんですが、見る方は多分議会事務局職員とか、例規集ですと条例規則はありますが、例えば要綱とか書式とか、そういうものについてはなかなか載せていないところがありますので、どちらかといいますと事務局職員が見ると。我々も見ることがありますんで、そういう人向けかなと。どちらかという、一般市民の方はなじみがちょっと薄いかなと思います。

○伊藤委員長 稲田委員。

○稲田委員 要は今、載せる載せないの議論ですが、出発点は議会報告会のアンケートの戻りで、わかりやすく我々も今後努めなきゃなりませんねというところで、逆に言うと、わかりにくかったのが、用語の難しい専門用語ということなんであって、それがホームページに全部負わせるのはどうかということは一理あると思いますので、もうちょっと我々も研究するという流れで、これどうでしょうか。

○伊藤委員長 はい、わかりました。

じゃあ、これは事務局の作業量にもかかわってきますので、検討するというところで引き

続き事務局のほうでも検討していただければ。

局長。

○**先灘事務局長** いや、全部っていいですか、これについてはもうやろうやということにしています。でも、まだ掲載してない。ですんで、PDFになります。

○**伊藤委員長** じゃあ、もうやる方向で。

○**先灘事務局長** 検索機能は難しいです。

○**伊藤委員長** じゃあ、議会例規集についてはやる方向で今もうまさに検討していらっしゃるところで、されるという方向なんですよね。用語集については、これは引き続き検討ということで、必要があればということではしていきたいと思えます。ありがとうございます。

マチイロの誘導なんですけれども、これは今までも御意見をいただいていた、誘導するというのが難しかったですかね。今もうまさにしていらっしゃるということでよかったですかね。議会だよりにはまだ載ってないので、議会だよりには載せる方向でと思っております。

事務局、佐藤さん。

○**佐藤主任** これは、広報よなごですか。

○**長谷川事務局次長** これは鳥取市議会です。

○**佐藤主任** それはこういう形で。

○**伊藤委員長** そうですね、はい。どこかに載せていただければありがたいなと思えます。米子市議会だよりもマチイロでごらんいただけますので、それはじゃあ対応をよろしくお願いたします。

じゃあ、以上でホームページについてはよろしいでしょうか。

〔「はい。」と声あり〕

○**伊藤委員長** じゃあ、掲載でよろしいでしょうか。

それでは、その他、広報広聴委員会について御意見をいただいております。これは意見交換の会場をテーマに沿った会場に出向くことも検討する。これは議会報告会についてはなくて、意見交換会ということですか、政英会さん。

稲田委員。

○**稲田委員** 2つ上の段とセットと考えて。

○**伊藤委員長** あっ、セットですか。じゃあ、後でまた。

よなご・未来さんの、山川委員、案内ポスターをつくるということについてですが、それは市議会定例会の案内、だから市議会定例会、年4回ごとのポスターをつくったほうがいいってことですね。これは、でも、どうでしょう、皆さん。御意見とか、どうでしょうか。今々、予算はかかると思うので、その辺がちよっと難しいかなと思うんですけども、例えばA3でちよっと大き目に張るといようなことはできるのかなと思えますので、また、広報広聴委員会で作成してみてもいいのかなって思うふうには思っております。皆さん、いかがでしょうか。

山川委員。

○**山川委員** 国頭委員が町田にちよっと視察に行かれたみたいで、結局、何か議員って何やっているんですかとか議会っていつやっているんですかって言われるじゃないですか。



それで、時期ごとの定例会ごとに、今この時期からこの時期までは定例会やっていますよみたいな形のやつを何か出してるみたいなのがあって、町田市を参考にこういう形の張り紙みたいなのも検討してみてもいいんじゃないかなって言うことになって、確かに賛同するところがあったので。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。

実は、この隣の隣の審議も、議会傍聴の案内、各公民館に自治連にお願いするだとか各公民館に張るだとか、やっぱり議会がいつやっているのかわからないだとか、傍聴に行きたくてもどういふふうにしていいかわからないだとか、そういうふうな御意見はたまにいただくので、検討ということで次に行きたいと思います。よろしいでしょうか。

じゃあ、公明党さんの御意見は、そこのところ、議会だよりについてですね。ここの一番下を書いてある議会だよりについて、意見書、宣言及び決議を題名のみか要旨にとめるのかなど、検討の余地があるんじゃないかということ、余ったページ数の中で全部が載せられない場合はこのような検討も必要だということですね。ありがとうございます。

又野委員から市民アンケートをとってみるといふ御意見をいただいています。

又野委員、どうぞ。

**○又野委員** 可能であればなんですけども、これも手間がかかるので、何かの機会でもいいですし、議会報告会のときでもいろいろ意見をもらったりするので、そのときにでも情報発信の仕方について何か意見をもらったりっていうのもあるんじゃないかなと思って。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。

議会報告会後のアンケートは、結構皆さん一生懸命記載していただいて、先日の検証の部分でも取り出してみましたけれども、アンケートたくさん書いてくださるのでとても有効かなと思いますので、また議会報告会の際にはアンケートをとってみたいと思いますし、広報広聴のあり方について、市民の皆さんにアンケートをとってみるのもいいかなと思っています。ありがとうございます。

また、信風のほうから、去年は2月に米子高専に出向きまして、学生との意見交換会をいたしました。若い方の意見っていうのは自治会等、そういうところからも上がってきませんし、なかなか貴重な機会だったかなと思いますので、できれば広報広聴委員会が主体となってそういう調整をできればなというふうに思っております。

ほかに御意見とかございませんでしょうか。

じゃあ、議会報告会について、議会報告会のあり方の皆さんの御意見をいただきたいと思っております。

じゃあ、順番に政英会さんのほうから。

稲田委員。

**○稲田委員** こちらに書いてあるとおりですが、年1回をして、全体、全議員が参加する報告会を、仮に第1部とすればそこで、第2部がいわゆるよくある分科会というような形、これは常任委員会単位で意見交換ということで、最後、その他に書きまじけたけど、テーマを決めずにやったほうがいい場合もあるでしょうけれども、やはり何かこういうことに関してですからPTAの連合会であるとか、それから、どうでしょうね、余り広くするとわかりにくくなるかもしれませんが、いろんな、こういうテーマに沿った話をしますのって言うたら、それに関心が高い人で募ってはどうかと思っております。

○伊藤委員長 1回開催として、1部を議会の報告会で、2部を、だから、1回目が議会報告会、2回目が常任委員会ではなくて。

○稲田委員 1日。

○伊藤委員長 1日の中に例えば30分と1時間とか、そういうような形でやってみるということですね。

○稲田委員 はい。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

では、山川委員。

○山川委員 年1回はするべきであって、信風さんも書いておられましたし、今議会でも前原議員がちょっと言われとったんですけど、自治会が解散する校区があって、街灯もできないところあるじゃないですか。それで、本当にずっといろいろやっぱり歩いてると、高齢者のひとり暮らしで亡くなられて1週間ぐらいしてから発見されたとか、在宅の安否確認の、何ですか、お弁当配付も地域によってはもうできないところが決まってきたりとかしてまして、お弁当じゃなくても、ほかの地域だったらヤクルトだったりカルシウムをとるために夏だったら水分のポカリだったりとか、これは財源の問題があるんですけども、やっぱり本当に米子市は高齢化が進んでいる中で、すごく切実な問題になってきていると思うんですよ。その問題を抱えているのは、やっぱりこれ、全会派ではないですけど、大体の会派がそろっていて、それを同じ共有としてみんなからの要望みたいな形で一つでも実現できたらすごくいいなと思ひまして、実際にもう高齢化が進んでいるから施設に入って、空き家がふえてる、各地域で。空き家がふえて、自治会では担い手がいないという。これって本当に多分皆さんがお住まいの全部の地域で共通の課題だと思うので、そういう意味で団体だったり、いろいろ市民の方と意見聞いて、一緒にちょっと方向性として、予算の裏づけもちょっと必要なんですけど、話しして何か一つでもできたらなと思ひまして、意見交換できないかなと思ひまして。

○伊藤委員長 意見交換をして、その上で。

○山川委員 上で、共有して、市に上げる。

○伊藤委員長 共有したものを政策に反映するようなシステムをつくるというようなこともあわせてですよ。

○山川委員 そう、そうそう、そうですね。だから、やっぱり議員になって、それぞれの地域とか本当に大切な方とかのために何とかしたいという思いは多分一緒だと思うので、それを何か一つでも市民の方との話し合いですくい上げて、できたらいいなと思うんですよ。そのための意見をすくい上げて、要望みたいな形で、全員からのっていう形で共通でできないかなと思ひまして、もしよろしかったら。

○伊藤委員長 随分前、議会改革の委員会のときにやっぱり会津若松の政策に反映するシステムというようなことを議論したこともありますが、まとまってもおりませんので、またちょっとずつ勉強しながら検討というような、皆さん共通の理解がないとあれですけども、勉強を始めるということも必要かなと思ひます。ありがとうございます。

公明党さん、どうですか。

矢田貝委員、どうぞ。

○矢田貝委員 前回もう言いませんって言いましたので、やはりここでも申し上げられま

せんというところで、議会報告会というのと今、皆さんがおっしゃっている広報広聴委員会が扱う事項としての、今のお話と分けて考えないといけないと思っております。絶対せっかく市民の側に入れようとしているところを後退させようというわけではありませんけれども、あえて議会報告会というこだわりにするなら、ここにしか私たちの会派としては、何度話し合ってもここに行き着いてしまうので、また書かせていただきました。

個人的な意見として言わせていただければ、議会としてどのように市にいろんな政策なり提言なりにつなげるかということまで考えると、皆さんがおっしゃっているとおりだと思いますので、それはまた別のことだと思っています。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。

信風でも話し合いました結果、現行の議会報告会、基本としながらということは、議会として報告するんであれば個々の意見は言わないでいいふうになつてますけれども、意見交換の中で、テーマを決めずにした場合、やっぱりあの人はこう言ったとかこの人がこう言ったとか、直接いろいろな意見が出てしまうというようなこともいかなものかというような御意見もございまして、現行の議会報告会、基本としながら、先ほど稲田委員からもございましたが、常任委員会の中で議論となっている問題、テーマを決めて意見交換をするというのは必要なことかなと。今回、防犯灯についてもいろいろな議員が今までもございましたので、そういうことをやっぱり各地域の皆さんと話し合いながら、よい方向に結びつけるというようなことは必要なことではないかなというふうにごに書かせていただきましたが、でも、現行の議会報告会を基本としながらというところはやっぱり公明党さんと一緒なかなというふうに思います。ありがとうございます。

じゃあ、共産党、又野委員。

**○又野委員** 基本的にはやっぱり毎年しないといけないかなと思つてます。その下に書いてあるのは、4ブロック、今分かれてるのを一応もし2つに分けた場合も、2つの地域は一緒なんだけれども、対象が2つの地域一緒にして、でも、会場としては4ブロックで、1カ所やって、その翌年はその半分にした中で違う、会場をただ移すだけの話の負担が大きいようなら、ちょっと回数というか、場所を減らすっていうだけの話なんですけれども。最初のうち、テーマを決めてっていうのを私どもも言つてたんです。なかなか難しいような感じがこの間あったので、ちょっとその方向が大分薄まってきたんですけれども、また何かテーマを上げてもっていうような話が結構出てきてるので、可能だったらテーマを上げてっていうことでいってもらえるといいんですけれども、基本というか、議会全般のは当然必要だと思うので、それとあわせて、テーマごとで何かしてもらったらいかなと思つてます。

ここ、例えば議員定数のときなどって書いたんですけども、議員定数を減らすときに、何か結構説明をされたっていうことを。

**○伊藤委員長** 事務局のほうがいいかしら。局長。

先灘局長。

**○先灘事務局長** 記憶、最初4カ所だったんですけども、自治連に相談しましたらちょっと少ないんじゃないかということで、たしか8か9ぐらいさせていただいております。ですから、今は4ブロックですけども、ほぼ中学校校区でやってくださいっていう、たしか御意見を承って、2月か3月か、年度またがって、プラスで4カ所か5カ所ぐらいたしか

行っているはずで、合計9カ所程度だったと思います。

**○伊藤委員長** 私も、委員だったので覚えているんですけども、多分それは初め5カ所じゃなかったかな、淀江もで、5カ所でやったような覚えがあるんですね。それで、自治連に行ったところ、全地域でやってもらいたいみたいな意見もあって、結構厳しい意見をいただいて、それで、結局9カ所でおさまったということなんですけども、9カ所やった後も、自分の地域はやってないとか、そういう話もあったので、やっぱり地域少なくするのはちょっと難しいのかなというふうにも思いました。今でもやっぱり4カ所でも少ないなというふうに思われる方は多いんじゃないかな、自治連の関係の方で。

**○又野委員** ですので、そういうふうに関心のあることっていうのもあると思われまして、やっぱりテーマ決めてやるっていうのも必要なことであるんじゃないかなということ、ちょっと上げさせてもらってます。

**○伊藤委員長** ここでは意見交換会を2部でもしてもいいという意見もございますが、でも、公明党さんは、矢田貝委員からさっき言われたように、意見交換の部分は議会報告をした後の意見交換だったらいいけれども、テーマを決めてっていうのはちょっと今のところでは考えられないということなんですよね。

今城委員。

**○今城委員** 済みません、矢田貝さんと同じ会派ですから同じ意見っていうかっていうんで、会派の中でも話をしているんですけども、やはりきちんとした議会報告会っていうのは報告ですので、例えば議会の中でも報告っていう案件として委員会等でも、ある問題に関しての報告は報告として一旦受けますよね。受けたものの中で、質疑だとか意見だとかっていうことはありっていうか、当然のことなんですよね。そこはやるっていうのは当然のことなので、そこはありだと思うんですけど、これが意見交換会となると意味がまた全然違ってくと思うので、今回ここに持ち帰りっていうふうに言われていたものっていうのは、議会報告会についてって、しかも、今後のあり方についてっていうことで考えていった場合、現在の議会報告会そのものも1回しかやっていない。これから2回目に向かっている中で、何かすごく問題があって、支障がある、議会報告会そのものがね、あるっていうことがまだここで問題点すらも余り明確になっていないのではないかなって思うんですね。皆さんが意見を聞く云々っていうことをすごくおっしゃっているのは、これはもう議会報告会の意見云々とかではなくって、やっぱり市内のさまざまな課題や問題をきちんとした、市民の皆さんと共有するというべきではないか、これはみんな、多分の議員に聞いても、これは共通認識ではあると思うんですけど、それが議会報告会のなすべき場所ではないと思うので、まず、ここできちんと議会報告会は報告をする場なんだっていうことで認識をきちんとした上で、意見交換会をするというならば、意見交換会は別の形ですということは今後検討するべきじゃないかなというのが私の会派の先ほどの話の意味なんです。ていう意味でいうと、議会報告会のあり方っていうものをまだ1回しかやってないで、これから2回目に向かおうとしているところで、何が問題で、何をどう変えないといけないのかということが余り見えていない状態で、余り物は言えないなっていうこともあってのここなんですけど、まず、その意見交換会というところと議会報告会というものの質が違うっていうことと、議会報告会のうちなら議会の状況を報告するんだっていう、それについて皆さんの質疑や意見をいただくことはありだと思うんですけど、

そこら辺のところのあり方っていう意味でいうと、そこをきちっと線分けをした上で、別問題として検討しませんかという。

○伊藤委員長 私もきょうちょっと資料を持ってきてないものですが、基本条例にある議会報告会の位置づけと、あと、議会報告会の要綱ございますよね。その中には、議会報告と意見交換も、意見を伺うというようなこともしっかり入ってると思うんですね。だから、その線引きはなかなか難しいのではないかなと思ったりもします。イメージ的に議会報告の中には、議会での報告と意見をいただくというようなことがセットになっているのかなというふうに思います。

○矢田貝委員 交換会じゃないんですか。

○伊藤委員長 うん、意見交換です、意見をいただくということ。

○岩崎委員 ちょっといいですか。いや、議論がちょっとなかなか、これ確定的になりませんので、このままだとみんなそれぞれ違う。ポイントをちょっと絞って進行していただきたいというのと、あと、ちょっと事務局さんの先灘さん、鳥取市のケースでいえば、報告会があって、何とかカフェとかいって。

○伊藤委員長 T a l k C a f e。

○岩崎委員 T a l k C a f eですか、それ、たしか今年度から実施してるはずなんですけど、その辺の様子をまた教えていただければななんてことを思ったりするんですけど、どんなぐあいかなということ。

(発言する者あり)

あっ、そうそうそうそう。もしわかれれば、わかる範囲でちょっとお伝えいただけないでしょうか。これが結構参考になるんじゃないかなと思わして。

○伊藤委員長 じゃあ、先灘局長、済みません。

○先灘事務局次長 意見交換会は、これは意見交換会って、議会報告会という言葉使ってますが、情報提供して、意見を交換するっていうのは、先ほどこれはできるっていう、今のままでもできます。この報告会の開催要綱を決めてますのは、こういう例えばテーマを決めたとしても、ブロックごとにやりますよっていうのがこの要綱ですので、例えばいろんな団体とか一般的な方等に募集してするとか高専に行くとか、この枠外でやっていただくことっていうのは、聞いてませんが、かなりあると。ですので、この開催要綱はあくまでも自治連のブロックごとで、例えばやり方はテーマを決めたりすることも可能です、この今の状況で。ですので、ブロックごとにやるのが決まっているのであって、意見交換会をテーマごとにすることをできないと言ってるものではございませんので、そのすみ分けをしていただきたいと思います。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

この報告会を4ブロックで、1年に1回以上実施というふうなところが要綱として上がっているんで、この中でも十分できる、テーマだとか意見交換の部分の厚くするというのはできるというふうに私、認識しておりますので、なかなかここからここまでがというふうなところは難しいのではないかなと思います。ありがとうございます。

T a l k C a f eのことは。

○長谷川事務局次長 一応ここに。

○伊藤委員長 私も参考になるなというふうに見ておまして。

○先灘事務局長 ホームページに出てなかった。

○伊藤委員長 ホームページに掲載されてます。ワークショップ形式で、分科会のワークショップ形式で適用を出したと。

○先灘事務局長 テーマが相当多岐にわたる、9項目にわたっていますんで、この中で、どういう説明、説明せずに意見を聞くだけなのかどうなのかっていうのはちょっと確認しないと、いろんなテーマで自由な意見を伺ったというところかと思えますけども、結論を出すっていうのは。

○伊藤委員長 そうですね。ワークショップのような形でいろいろな案件を市民の方からいただいたということで、私はいろいろ見てるんですね。鳥取市議会にお尋ねしたところ、報告会も何回か重ねてやってきたらどんどん参加者が少なくなって、やっぱりもっと自由に意見を言いたいとか、市民の自分の関心事はここなんだっていうようなところがあるので、テーマを決めると関心がある方がそこに来て、いろんな意見をいただくことができたということで、参加された方もとってもよかったというような有意義な時間だったというふうなところが掲載してありましたので、それは次の段階ではいい形ではないかなというふうに思いますので、鳥取市議会のTalk Cafeをちょっとモデルにしながら、少し米子市議会でも今後、常任委員会として検討してはどうかと思ったりもします。皆さんの意見もそっちの方向もかなりあったりするので、また会派にお持ち帰りいただいて、このTalk Cafeの様子をもうちょっと詳しく鳥取市議会のほうに求めて、皆さんに資料提供したいと思いますので。

○岩崎委員 何か課題があったとか、ちょっとまたぜひ委員長、済みません、お願いします。

○伊藤委員長 はい、詳しく聞かせていただいて、まとめたいと思います。

どうぞ、矢田貝委員。

○矢田貝委員 私もいろいろと検索していく中で、すつとん議会報告会という言葉は全然関係なくて、議会が市内に出向いて行って、皆さんの意見を聞かせてくださいよ委員会みたいな、そういったところでもうばあんとわかりやすくテーマを持って市内に出かけて行って、どんどん聞いていらっしゃるその議会の様子を見たときに、皆さんがここで何かぐちゃぐちゃになってしまう、ここに向かおうとしてるから、回数を重ねてなるものではなくって、やっぱりここで2回目っていうのがもう開催してしまっ、検証がないまま同じものを繰り返すしかないところで、それをもち込もうとするから苦しいのであって、これはこれ、2回目はもう決まったので進みますけれども、もう一度そこに向かうためにどんな形がいいのかっていうのは直したほうがいいと思いますね。それぞれの要綱とかも見直しながら、もっとすっきりした形にするべきじゃないかなというふうに思っています。

○伊藤委員長 ありがとうございます。

いろいろな議会が次の段階、初めての段階より次の段階にどんどん進んでいるので、検索すればいろいろ出てくるとは思いますので、また具体的に提案していただければありがたいなと思いますので、そのいいところをちょっととりながら、米子市議会の形をつくっていければなと思います。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 もう一つ、済みません。あと、この委員会に来られる人たちが一回一回

会派に持ち帰って、会派の意見として持って出てくる必要っていうところが、ある程度ここでもうがちゃがちゃで個人の意見を言い合って、会派として出てきたというより、ここに託されているメンバーでこの方向ってまず示して、それを持ち帰ってしないと物すごく時間がかかるんじゃないかなと思うんですけど、それぐらい一回一回持ち帰らないといけないものですかみたいなどころまで持ち帰ってるので、進まないんじゃないかなって思うところがあります、ごめんなさい。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。

皆さん、そのことについてはいかがでしょうか。

山川委員。

**○山川委員** そうですね。だから、託されてるので、ここである程度決めたらいいなと思うんで、やっぱり議会報告会っていうとちょっと敷居が高くて、難しい話で、わしはちょっとわからんわ、だけど、このTalk Cafeとかだったら、ちょっと話に行っても敷居が低いけん、いいんじゃないかっていう多分感じだと思うんですよ。だから、時間配分だったりとかも決めてやっぱりやっていかないと、どうしても投票率が下がってきて、それで、共産党さんが上げているのは議員定数ってやると、やっぱり今、本当、議員もボランティアでいいわ、半分でいいわとか、議員は要らんわっていう声がすごく多いじゃないですか。だから、こういうふう敷居が低くて、いっぱいいろんな意見を聞いて、それを本当に上げている姿勢っていうのをどんどん示していかないと、やっぱり敷居が高過ぎて離れていっちゃうっていう傾向になってしまうと思うので、だから、せっかくこういう本当にいい事例があるんであったら、できることであつたらTalk Cafeだったりとかっていうのもやっぱり検討してもいいんじゃないかなって思います。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。

じゃあ、今回は持ち帰っていただいても会派の中で話していただかなくて、どちらでも結構ですけれども、具体的に鳥取市議会の資料も皆さんにお配りしたいと思いますし、また1月に広報広聴委員会を開催したいと思いますので、それまでに皆さんのほうでも具体的な例を、こういうことがいいんじゃないかという御提案をいただければなと思います。その上で協議をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

きょうは、議会報告会のあり方についてはこれまでとさせていただきます。

最後ですが、とても長々と日程が調整できなくなっているんですが、大山町議会の議会だよりの視察をしようとしておまして、次は2月に、雪が降って大変かと思うんですが、調整中ですので、また日程を御提案しますので、可能な限り参加していただきたいと思えます。

以上で終わりたいと思います。

事務局のほうから何か落ちてることとか。

**○長谷川事務局次長** 議会報告会のメンバーというか、本日確認のほうは。

**○伊藤委員長** 議会報告会の班編成ですか。済みません、させていただきました。

**○今城委員** はい、コピーしてくださっている間に。

**○伊藤委員長** 班編成は、もうあれで結構です。

**○長谷川事務局次長** 失礼しました。

**○伊藤委員長** よろしいでしょうか。申しわけない。

では、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午前 11 時 17 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長 伊 藤 ひろえ